

道徳学習指導案

2年1組 男子19名 女子15名 計34名
指導者 井口 亮介

- 1 主題名 充実した生き方 (内容項目 A-(3)向上心、個性の伸長)
- 2 教材名 五万回斬られた男・福本清三
(出典：とびだそう未来へ 中学道徳2 教育出版)
- 3 ねらい 「五万回斬られた男」と称される福本清三さんの生き方について考えることを通して、自分自身が納得できる深い喜びを伴った人生を生きるための心得を模索しようとする心情を育てる。

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

自分自身が納得できる充実した人生を生きるためには、まず過去から現在、そして将来へつながる自己の在り方を見つめ直すことが必要である。こうありたいと願う自己の姿を明確にもち、その実現のためにどう生きていけばよいか思索を重ねていく。その過程の中で個性と呼ばれる自分自身のよさも磨かれていくことになる。人からどう思われているのかが最も気にかかる中学生時代であるが、だからこそ自己を客観的にみつめ、自分自身が納得できる生き方を模索する必要がある。

本題材では、「五万回斬られた男」と称される福本清三さんの「無名の脇役」としての人生の在り方に触れることを通して、自らの生き方について考えるきっかけとしたい。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒は明るく元気な生徒が多く、学校行事にも積極的に取り組む姿がみられる。その反面、他の生徒からどのように思われているかを不安に思い、必要以上に気にしてしまうあまり、自分のもてる力を発揮できないでいる生徒もいる。自己理解できている生徒がどの程度いるか知るために、「自分らしさ」を理解しているかというアンケートを実施した結果、「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせて0%であった。中学生という大人の階段を一段一段上っている発達段階において、「自分らしさ」を理解し、認めながら学校生活を送ることができている生徒はそれほど多くなく、学校教育を通じて、自分らしく生きることの大切さを伝えていきたい。

(3) 研修主題との関連

研究主題

「他と関わり合う場」を通して主体的に学びを深めようとする生徒の育成
～他との関わりから自分の考えを練り上げる指導はどうあればよいか～

本時では、個人で考えるだけでなく、グループで考え、全体で共有し、また個人で考え直すことで、「自分らしさ」を生徒自身が探す旅の出発点としたい。個人ではなかなか意見の出ない生徒も少なからずいる。しかし、生徒が仲間と意見を共有し、意見を交わすことで、考えを深め、「自分らしさ」を見つけることができると考えた。

普段意見を言えないでいる生徒が自分を表現するために、本時では、考えを共有する際に、モバイルパソコンのノート機能を使う。全体でリアルタイムに自らの意見を発信し、仲間と共有することで、気持ちの変容を視覚化するとともに、全ての生徒の意見を全体に広げ、自分の意見も認められたという気持ちを大切にしたい。

5 本時の学習

★…研修主題との関連における教師の働きかけ ◆…支援を必要とする生徒への手立て

学習活動 (主な発問、中心発問) (配時)	指導上の留意点 評価(方法)
1 自分の長所・短所についてのアンケート結果を共有する。 (5) 自分らしさを感じる瞬間って、どんな時だろう。 ・ 普段あまり考えたことなかった。 ・ 普段通りの自分でいられる時。	・ ここでは、「自分らしさ」をイメージする程度にする。 ◆ PCのノート機能を活用して、画面に自分たちの意見を映し出し、リアルタイムで気兼ねなく自分の意見が述べられるようにする。

- 2 福本清三さんの出演映像を見て、自分らしい生き方について考える。(30)

福本清三さんのすごさはどこにあるだろう。

- ・信念をもって役者を演じているところ
- ・脇役に徹して、主役を立てているところ
- ・怪我をしても舞台に立っているところ
- ・納得のいく演技を目指しているところ

福本清三さんは、どんな気持ちで斬られ役に徹してきたのだろう。

- ・目立つ、目立たないに関わらず、信念をもっている。
- ・常に向上心をもって努力をし続けている。
- ・無名か有名かではなく、自分で納得できる演技をしたい。
- ・人の役に立てる喜びを感じている。

- 3 「自分らしく」生きる上で何を大切にしたいか書く。(8)

- 4 ラストサムライでの福本さんの映像を見る。(2)

- 5 感想を全体で共有する。(5)

- ◆福本さんの映像を見て、イメージを膨らませやすくする。

- ・教材は前もって読ませておき、「福本さんのような生き方をどう思うか」を課題として考えさせていく。
- ・福本さんについて、「すごい」だけでは終わらせないように、生き方に十分共感させたい。
- ・主役になりたいと感じたことはなかったのだろうかと切り返す。

- ◆福本さんになりきって、ペアでインタビューをして、福本さんの気持ちに、自分の考えを重ねられるようにする。

- ★4人グループで福本さんの生き方について話し合った内容をスクリーンに映し、全体で意見共有をしやすいようにする。

- ・それぞれのグループの意見を通して考えたことを発表させる。
- ・黒板には、生徒たちの気持ちの動きを板書するように心がける。

- ・自分らしさが理解できなくても、理解しようとする姿勢を認める。

「自分らしく生きる」ことについて客観的に考え、志をもって生きていこうとしているか。(ワークシート)

6 視点

ICTを活用したグループ学習は、「自分らしさ」について自分なりの意見を持ち、客観的に考え、志をもって生きていこうとする姿勢を育てるために有効であったか。

7 板書計画

【プロジェクター表示内容】

1. 福本清三さんの主演映画の予告
2. アンケート結果の表示
3. 生徒たちの意見（付箋）の表示
4. グループの意見の表示
5. ラストサムライの映像

- ◎ 斬られ役に徹してきた思いは？
- ・目立つ、目立たないに関わらず、信念をもっている。
 - ・常に向上心をもって努力をし続けている。
 - ・無名か有名かではなく、自分で納得できる演技をしたい。
 - ・人の役に立てる喜びを感じている。
- 福本清三さんのすごさとは？
- ・信念をもって役者を演じているところ
 - ・脇役に徹して、主役を立てているところ
 - ・けがをしても舞台に立っているところ
 - ・納得のいく演技を目指しているところ

五万回斬られた男・福本清三

○ 「自分らしさ」を感じる瞬間は？

- ・普段あまり考えたことなかった。
- ・普段通りの自分でいられる時。

